



朝日田 荒井裕子 さん

私のふるさと宮城県柴田郡大河原町は、県南部に位置する人口約23,000人の町です。江戸時代は奥州街道の宿場町として栄えましたが、明治時代以降は国や県の出先機関が置かれ、官庁の町として発展し、合同庁舎などの行政機関が多く集まっています。

蔵王連峰を背景に町の中心を流れる白石川沿いには、樹齢100年以上の1,200本の桜並木が約8km続きます。これは「白石川堤一目千本桜」と呼ばれ、町民が品種の普及や保護に努めています。「日本さくら名所100選」にも選ばれ、残雪の蔵王を望み、川沿いに咲く千本桜の見事さは、町の象徴で町民の誇りです。桜まつりには、約22万人以上の観光客が訪れにぎわいます。桜の開花時期には、東北本線大河原～船岡間の列車は徐行運転をし、車窓から桜を鑑賞できるようにしています。私にとってもこの桜並木は、祖母の手作り団子を食べた花見、花火大会、そり遊びなど、楽しい思い出がいっぱいの場所です。

資格を取るため須賀川に来て以来、出会った多くの方々に感謝しつつ、楽しい日々を過ごしています。

今は毎年、ふるさとの大河原の桜を思いながら、須賀川の桜名所を訪ねて楽しんでいます。



宮城県
大河原町



サ
イ
ク
ル
と
わ
た
し



須賀川東バスケットボール
スポーツ少年団

代表者 矢内秋良
団員 23人
発足年月 平成18年4月
連絡先 ☎090(3365)9183
活動日時 木曜日 午後6時30分～8時30分
土・日曜日 午後1時～5時
活動場所 柏城小、長沼東小など



団ホームページ

私たち「須賀川東バスケットボールスポーツ少年団」は、今年で創立20年を迎える男子ミニバスケットボールチームです。主に小学1～6年生が活動していますが、小学生未満の子も参加しています。

OBなど7人のスタッフとコーチが「選手ファースト」をモットーに練習メニューを考え、心・技・体がバランス良く成長できるよう指導しています。ミニバスケットボールの公式戦は年3回(新人戦、サマーカップ、ウインターカップ)開催されており、団員たちも上位大会への出場を目指し、日々練習に励んでいます。そのほか、チーム強化のために練習試合なども行っています。

入団体験や見学は、いつでも大歓迎です。低学年でも、専用の練習メニューで楽しく練習できますので、ぜひ一度お越しください！お待ちしております。



tette 情報

tetteでは、市民の皆さんが生涯にわたり学べるよう様々な世代に向けた講座や各種イベント、誰でも楽しむことができる行事などを行っています。詳しくは、tetteホームページやInstagramをご覧ください。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA
tette Instagram

こどもセンターだより

こどもセンター☎(76)6687

親子イベント「お誕生カードづくり」

3月12日(水) 午前9時～正午 ※事前申込(先着6組)

子育て支援講座「みんなの子育ておしゃべり会」

3月13日(木) 午前10時～11時

※事前申込(先着6組)

親子イベント製作

「イースタープラネタリウムをつくろう」

3月14日(金) 午前10時30分～11時

※事前申込(先着8組)

製作セットの配布 3月14日(金)～16日(日)

※事前申込(先着7組)

子育て相談会

3月17日(月) 午前10時30分～11時30分

※事前申込(先着2組)

親子イベント「親子でうたあそび」

3月19日(水) 午前10時30分～11時



図書館だより

中央図書館☎(75)3309

ライブラリーシアター

3月15日(土) 午前10時

おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)

3月19日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)

こども読み聞かせ会

(読み聞かせの会ポケット)

3月22日(土)、4月12日(土)

午後2時30分 ※自由参加(定員20人)



ふるさとの遺産

No.367

—学校の今昔—

長沼小学校 その4
(昭和時代)



疎開した児童が宿泊していた満月館

長沼町方部旅館組合の資料によると、児童は満月館や藤野屋など町内5つの旅館に分かれて宿泊し、学校の講堂で授業を受けました。講堂には暖房設備がなかったため、冬は旅館で学習しました。また、畑を2カ所借りてカボチャやサツマイモ、ジャガイモなどを育て、たんばく源としてウサギを飼育するなどして、食糧不足を補いました。

太平洋戦争が始まった昭和16年、学校名は「長沼国民学校」となり、学習内容や学校行事は戦争に関わるものが多くなりました。戦争が激しさを増し、東京をはじめ大都市への空襲も増えると、子どもたちを地方に集団で避難させる学童疎開が始まりました。長沼地域にも昭和19年8月に、東京都荒川区の第五日暮里国民学校の35年生167人と、教師4人が疎開しています。